

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会

調査方針（案）

1 調査目的

人口減少・少子高齢化の進展に伴い、高齢者医療の需要は増える一方、小児・周産期医療の需要は減少が見込まれるなど、医療需要は変化してきている。また、医師の働き方改革により従来の医療提供体制を維持することが難しくなっており、将来を見据えた医療体制の整備が求められている。

このような中、県民が地域において必要な医療を適切に受けられるためには、本県の懸案となっている医師の不足や地域偏在、がんや救急医療をはじめとした政策医療の体制整備などの課題に早急に取り組んでいく必要がある。

そこで、県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、県民がそれぞれの幸せの実現に向けて挑戦していくための基盤となる、「県民の命を守る医療に関する諸方策の在り方」について調査・検討を行う。

2 調査項目

- (1) 医療提供体制（全体）の現状と課題・今後の対応
- (2) 救急、小児、周産期の医療提供体制の現状と課題・今後の対応
- (3) がん・循環器病の現状と医療提供体制、予防対策
- (4) 医療機関の再編、県立病院の現状と課題・今後の対応
- (5) 医師をはじめとした医療従事者の確保、医師の地域偏在の解消

3 調査期間

調査期間は、令和8年11月までの概ね7か月とし、令和8年第4回定例会の会期中に調査結果の報告を行う。

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会 調査項目細目（案）

- 1 **医療提供体制（全体）の現状と課題・今後の対応**
 - ・保健医療圏及び医療提供圏域の設定
 - ・本県における医療施設の概況
 - ・医療需要（入院・外来）の将来推計
 - ・地域医療構想
 - ・へき地医療への対応
 - ・医療へのアクセス向上策 など

- 2 **救急、小児、周産期の医療提供体制の現状と課題・今後の対応**
 - ・各分野における医療需要の将来推計
 - ・医療提供圏域及び地域医療構想に基づく広域化・集約化 など

- 3 **がん・循環器病の現状と医療提供体制、予防対策**
 - ・本県におけるり患状況と特徴
 - ・がん検診受診率向上策
 - ・高血圧対策 など

- 4 **医療機関の再編、県立病院の現状と課題・今後の対応**
 - ・水戸保健医療圏における医療機関再編の背景
 - ・先進事例研究
 - ・県立病院の現状と課題・今後の対応
 - ・新県立病院の検討状況
 - ・県立中央病院の跡地利用
 - ・公的拠点病院の検討状況
 - ・医療機関の経営改善策 など

- 5 **医師をはじめとした医療従事者の確保、医師の地域偏在の解消**
 - ・医師・看護師・薬剤師確保に係る本県の現状・課題、対応状況、将来推計 など

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会
調査活動計画（案）

時期	委員会	審査内容
5月	第1回	○調査方針及び調査活動計画の決定 ○医療提供体制（全体）の現状と課題・今後の対応 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取・審議
6月 (定例会中)	第2回	○救急、小児、周産期の医療提供体制の現状と課題・今後の対応 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取・審議
7月	第3回	○がん・循環器病の現状と医療提供体制、予防対策 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取・審議
8月	第4回	○医療機関の再編、県立病院の現状と課題・今後の対応 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取・審議
9月 (定例会中)	第5回	○医師をはじめとした医療従事者の確保、医師の地域 偏在の解消 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取・審議
10月	第6回	○追加調査事項の審査 ○提言集約に向けた論点整理 ○調査結果報告書案の検討
11月 (定例会中)	第7回	○調査結果報告書の決定
11月 (定例会中)	定例会 最終日	○第4回定例会 本会議調査結果報告

※必要に応じて県内調査の実施も検討